

江戸の装藝

伊勢半本店 紅ミュージアム 第3回企画展

「よそほひ」の美と技



2007年10月13日 | 土 | — 11月25日 | 日 |

開館時間：午前11時～午後7時 / 休館日：毎週月曜（祝日は開館） / 企画展観覧料：500円 / 協力：其角堂コレクション

伊勢半本店 紅ミュージアム | 東京都港区南青山6-6-20K's南青山ビル1F
TEL. 03-5467-3735 URL. <http://www.isehan.co.jp>

江戸の装藝

「よそほひ」の美と技

今日の「きもの」の祖型である「小袖」が誕生したのは、室町時代の終わり頃から桃山時代にかけてといわれています。それまで小袖は、上流階級には下着として、庶民には労働着として着用されてきたものであり、上着としての機能を果たすものではありませんでした。それが江戸時代に入ると、華麗豪華な文様が施されるようになり、広く日常着として普及していきます。江戸中期には、「粋」の美意識が装いに投影されるようになり、後期になると「江戸小紋」といわれる精緻な文様が流行ります。江戸趣味の風俗が老若男女問わずに浸透していったのです。

そして、この衣服の流行と並行して、江戸の服飾美を語るに外せない存在・「袋物」がありました。袋物とは、当時の女性が外出の折に持ち歩いたハンドバッグのようなもの。代表的な袋物として、煙草入れや紙入れ、鏡入れ、化粧道具入れなどがありました。袋物は実用性以上にその美的側面に重きが置かれるようになり、身を飾るアクセサリとして急速な発展を見ます。多彩で奇抜なデザイン、それを具現化する高度な工芸技術、見る者を魅了してやまない意匠の数々が、今尚褪せることなく息づいています。

本展では、江戸時代の装いの流行を概観すると共に、彫りの技巧を駆使した浴衣の型紙や、古裂帖を展示いたします。また、“巧”藝と称するに相応しい、江戸職人の技を極めた袋物も併せてご覧いただけます。この機会に是非、江戸時代の美と技に触れてください。



国直・(仮題) 婦人煙草選びの図(部分)・其角堂コレクション蔵



金紙織地牡丹刺繍文宮迫・著さし・共に其角堂コレクション蔵

《併催行事》

「第2回 和のしつらい講座～七五三のしつらい～」

□2007年10月21日(日)午後2時～4時
要予約・定員20名・材料費2,500円

「第2回 江戸の化粧再現講座～秋の外出時の化粧～」

□2007年11月17日(土)午前11時～12時/午後2時～3時
要予約・定員各20名・無料
予約・お問い合わせは伊勢半本店 紅ミュージアム(03-5467-3735)まで

【交通】

- 地下鉄
東京メトロ「表参道駅」下車 B1出口から徒歩12分
- バス
①渋谷駅東口バスターミナル51番乗り場
都01系統 新橋駅前行き「南青山7丁目」下車 徒歩1分
都01系統 六本木ヒルズ折返「南青山7丁目」下車 徒歩1分
都01系統 東京ミッドタウン折返「南青山7丁目」下車 徒歩1分
②渋谷駅東口バスターミナル59番乗り場
渋88系統 新橋駅前行き「南青山7丁目」下車 徒歩30秒

【割引券】江戸の装藝～「よそほひ」の美と技

本チラシをご持参の方は、1枚につき1名様まで、通常観覧料から100円割引いたします。(500円→400円)

伊勢半本店 紅ミュージアム

東京都港区南青山6-6-20K's南青山ビル1F
TEL: 03-5467-3735 URL: <http://www.isehan.co.jp>

